

姉妹都市パロアルト市 中学生交流記



3月から6月にかけて、姉妹都市アメリカ・パロアルト市と市内の中学生がお互いの市を訪れて交流を深めました。今回は、参加した生徒の現地での活動や感想を紹介します。現在、市内在中の中学2年生(8年生)を対象に今年度の参加生徒を9月30日まで募集しています。皆さんの参加をお待ちしています！

募集について
詳しくはこちら▼



問市民活動課(☎内線2030)

3月 パロアルト市でのホームステイ

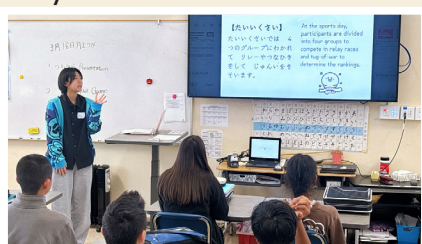


Day 1 歓迎パーティー



ホストファミリーに温かく迎えられました

Day 3～5 学校訪問



現地中学校の授業に参加

Day 3～5 学校訪問



アメリカの学校生活を体験

Day 5 近郊見学



Google社を見学

Day 6～7 ヨセミテ見学



ヨセミテ国立公園で雄大な自然に感動！

Day 9 答礼パーティー



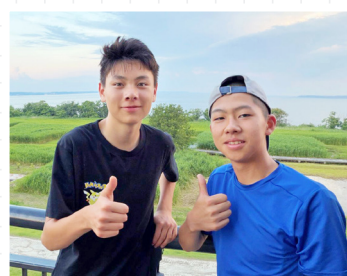
日本での再会を約束しました

◆派遣生から パロアルトでのホームステイを終えて

塚原 啓太さん(土浦第一高等学校附属中学校)

パロアルトでの生活はとても貴重なものでした。一番印象に残っているのは、ヨセミテ国立公園です。日本では見たこともない壮大な自然のスケールに圧倒され、心から感動しました。また、現地の学校では固定の教室やクラス担任はなく、朝食が出されるなど、日本とのシステムの違いにとっても驚きました。

この滞在を通してアメリカへの憧れがさらに強くなりました。現地で肌で感じた文化の違いや貴重な経験を忘れず、これからの英語学習への大きなモチベーションにして、自分の将来に向かって活かしていきたいです。



姉妹都市アメリカ・パロアルト市との交流

パロアルト市は、多くのIT企業が集まるシリコンバレーに位置しています。高い生活水準や治安の良さなどによって、アメリカ国内で住みたい街として人気です。旧新治村で平成5年度から始まった中学生の交流事業をきっかけに、平成21年度に姉妹都市締結をしました。

パロアルト市について

詳しくはこちら▼



6月 土浦市でのホームステイ受け入れ



Day 1 歓迎会



笑顔で3か月ぶりの再会！

Day 2 向上庵訪問



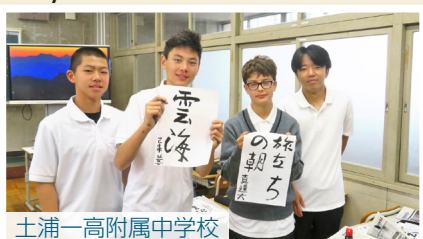
座禅体験を通じて日本文化に触れました

Day 2 朝日峠ハイキング



みんなで頂上をめざして山登り

Day 3～4 学校訪問



土浦一高附属中学校

バディと日本の授業に参加

Day 3～4 学校訪問



土浦第三中学校

クラスメイトを前に自己紹介

Day 9 答礼パーティー



ホストファミリーに感謝を伝えました

◆派遣生から ホームステイ受け入れを終えて

古川 香音さん(土浦第一中学校)

学校訪問ではクラスのみんなもバディ*も緊張していましたが、だんだん仲良くなり、私を通してたくさん話せるようになったのがすごく嬉しかったです。放課後に行ったゲームセンターでは、バディが日本のリズムゲームにハマって、何回もプレイしている姿がとても面白くて印象に残っています。キッチンで一緒に作ったアメリカの家庭料理「マカロニ・アンド・チーズ」や、ひたち海浜公園でサイクリングをして海を見ながら食べたお弁当は、どれも最高の思い出です。

国が違って心で通じ合えるんだと実感できました。もっと英語を頑張ってまた絶対に会いたいと思います。



※バディとは…ホストファミリーとなり、ホームステイ中、行動を共にするペアとなる相手

◆保護者から ホームステイ受け入れの様子を紹介

塚原さんファミリー

当初は「親が頑張らないと」と肩に力が入っていましたが、3か月ぶりに再会した息子とバディはすでに親友、あるいは兄弟のような様子で、冗談を言い合って笑ったり、言葉の壁を感じさせないやり取りにこちらが驚かされました。

滞在中は、息子の友達家族とBBQをしたり、夕飯にたこ焼きパーティーをしたり、ホストデイでは潮干狩りやJAXA見学、夜には花火など、たくさんのことを一緒に楽しみました。

短い期間でしたが、子供たちの絆は以前よりも深くなったと感じました。私たち家族にとっても貴重な経験になりました。ホストファミリーを検討されている方にもぜひ体験してみてください。

古川さんファミリー

バディは、肉や魚を食べないベジタリアンでした。滞在中は体調を最優先に考え、大豆ミートや野菜、旬の果物を使った料理でおもてなしました。チーズ好きな娘のために珍しいチーズを3種類も持参してくれ、一緒に作ったマカロニチーズの味は今でも忘れられない大切な思い出です。外出も本人の希望を優先しながら、家族全員で一瞬一瞬を全力で楽しみました。“You are part of my family.”と心から言えるほど、私たちにとってかけがえのない存在です。

初めての受け入れで不安もありましたが、このような素晴らしい経験ができたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、温かい交流の機会が続いていくことを楽しみにしています。

